

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地の評価結果について
飯綱町議会全員協議会 意見及び質疑応答 要旨

○日 時 令和5年6月14日(水) 9:50~10:30

○場 所 飯綱町役場議場

○出席者 議会議員15名、議会事務局職員1名、住民環境課職員1名

○意見及び質疑応答

	意見・質疑等	回 答
1	地元への説明は誰が行うのか。	今後の地元との日程調整等は町で行い、細部の説明は長野広域連合にお願いする。
2	処理場に入る1日の車両台数は何台か。主な搬入道路は長野市から坂中トンネルを抜けて来るのか。	長野市から坂中トンネルを抜けて来るのが主流である。1日の搬入車両台数は数台と聞いている。
3	町の環境審議会の関わりは。	本年度、環境審議会を開催するので、現在の状況(建設候補地の評価結果)について報告する予定で考えている。
4	【意見】基本的にはあまり好かれる施設ではないが、生活していく上では、地域に必要な施設である。広域である程度順番を決めて候補地を探して、これからも住みやすい地域にして行こうとする観点で考えると、当町でこれ以上の場所を今から探すとなると非常に大変な話。必ず順番が来るのであれば、条件が揃っているところで、私達の世代で、未来の問題を解決していくことが非常に大切だと思う。	
5	令和7年度に最終決定とのことだが、後2年間何をやっていくのか。	主は地元への説明となる。他には現状を知ってもらうということで、須坂市のエコパーク須坂等への施設見学を行うなど、施設への理解を深めていくことが必要かと考える。
6	仮に当町に決定した場合、長野広域連合の負担金は軽減されるのか。また、迷惑料といった類いのものはあるのか。	負担金の軽減はないと思われる。 長野広域連合の地元対策事業補助金交付要領において、施設建設地周辺の地域の振興を目的に、工事契約の締結した日の属する年度から起算して10年以内に行われる事業を対象に、経費の10分の1以内、補助金

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地の評価結果について
飯綱町議会全員協議会 意見及び質疑応答 要旨

	意見・質疑等	回 答
		額の上限は関係市町村に対して交付する補助金額の合計 1 億円が限度となるものがある。実際の事業内容は、その地区の道路改良事業や用排水路の新設改良等に充てることができる。
7	須坂市にあるエコパーク須坂の規模と比べて、次期一般廃棄物最終処分場はそれより大きいのか小さいのか。	エコパーク須坂の埋立容量は 85,000 m ³ 、次期一般廃棄物最終処分場の計画容量は 159,400 m ³ となっている。容量とすれば 2 倍弱、次期一般廃棄物最終処分場の方が大きい。
8	【意見】基本的には賛成。広域的、公的機関で実施するのはやむを得ないかなと思う。最終的には地元の皆さんの判断になるが、長野広域連合の組織市町村の中で、当町だけがそういった施設が今までないので、仕方がないかなと思う。	
9	次期最終処分場は令和 32 年度までということですが、その後の土地は森に戻すというような計画となるのか。また、その後の所有はどうなるのか。	最終処分場の跡地利用は全国的には公園や広場が多く、近年は太陽光発電施設なども増えているといった状況。 長野広域連合から町への移管（無償譲渡）となると聞いている。但し、埋立期間終了後（令和 32 年度）から当分の間（10 年から 15 年）は焼却灰等の浸出水処理の状況を確認して、一切そうした処理が不要となったところで、町に移管される。
10	焼却灰、ばいじんも含めて取り扱っている一般廃棄物最終処分場は他にもあるのか。	詳細はわからないが、一般的にはこの 5 品目（溶解スラグ、飛灰処理物、溶解不適物、焼却灰、ばいじん）を取り扱っていると聞いている。